日本共産党川崎市会議員団

2016年11月～2017年3月

「市民アンケート」

報告集

- 「市民アンケート」にもとづく要望書を市長へ提出
- アンケートの集計結果、分析
- アンケートに寄せられた市民の声

発行：日本共産党川崎市会議員団　TEL:044-200-3360 FAX:044-245-4140

４２９７通（5 月末まで）の「川崎市民アンケート」に寄せられた願いの実現に向け、今後とも活動してまいります。

日本共産党川崎市会議員団は、市民の声を市政に反映させるために「市民生活に関するアンケート」を２０１６年１１月から行いました。アンケート用紙約４０万部を全戸に配布し、２０１７年５月末で４２９７通の返信が寄せられています。この度、３月２６日返信分までのアンケート結果をまとめました。ご活用いただければと存じます。

アンケートにお答えいただいた市民の皆さんはじめ、配布にご協力いただいた支部・党員・協力者のみなさんに心から感謝を申し上げます。

アンケートに寄せられた一つ一つの実態や声を受け止め、市議会での論戦や地域要求の実現にむけて、今後とも活動してまいります。

このアンケート結果をもとに日本共産党川崎市議団は、５月１６日に市長に要望書を提出しました。要望書は、次ページに掲載しています。

川崎市長　福田紀彦　様

「市民アンケート」提出にあたっての要望書

2017 年 5 月 16 日

日本共産党川崎市議会議員団

団長　市古映美

日本共産党川崎市議会議員団は 2016 年 11 月から 12 月にかけて、市民の声を聞くアンケートに取り組みました。アンケート用紙を全戸に配布し、郵送で返送していただく方式で、4247 人の市民の方々より回答が寄せられました。（2017 年 3 月 24 日時点）

アンケートでは、毎日の暮らし向きの変化、「苦しくなった」理由、働き方・雇用問題の関心事、前市長と比べての市政の評価、子育て・教育で力を入れてほしいこと、高齢者・障がい者の福祉施策、まちづくりで力を入れてほしいこと、市政に対する意見・要望、身近な要求について伺いました。設問への回答とともに、深刻な暮らしの実情や切実な声が多数寄せられましたので併せて提出いたします。アンケート結果と要望書、市民の声に応える施策に全力で尽くされるよう、要望いたします。

設問への主な回答結果は次の通りです。

【毎日の暮らし向きは】

1．毎日の暮らし向きはここ数年で「苦しくなった」と答えた人が 63%を占め、多くの市民が苦しさを訴えています。

2．「苦しくなった」原因は、年金の減少、消費税などの増税、社会保険料の負担増、医療費の支出増が大きく、公共料金の負担増、給与の減少、も多く挙げられています。

【市政で特に力を入れてほしいことは】

1．子育て・教育施策では、不登校・いじめ問題（36%）、保育園待機児童の解消（34%）、教育費の　保護者負担軽減（27%）、小児医療費助成制度の拡充（26%）、遊び場や公園の整備（20%）などを強く求めています。

2．高齢者・障がい者などの福祉施策では、介護保険料・利用料の軽減（46%）が突出し、特別養護　老人ホーム等の増設（37%）、医療費窓口負担の軽減（31%）、国民健康保険料減免制度の拡充（28%）、敬老無料パスの復活（26%）などの要望が高くなっています。

3．まちづくりでは、地震防災対策（38%）が突出し、次いで、道路・公園の整備・清掃（28%）、ホームドア設置など駅の改善（24%）、駐輪場整備・自転車対策（22%）などが全市共通で強く要望されています。

これらの結果を踏まえて、当面、次の施策に力を入れていただくことを強く要望いたします。

（1）深刻な不登校・いじめ問題への取り組みを強めること、真の待機児解消へ認可保育園の増設テンポを引き上げること、教育費の父母負担軽減策と小児医療費助成を拡充すること。

（2）あらゆる知恵を出して介護保険料の値上げを抑えること、高齢者施策を削減でなく充実すること、特別養護老人ホームの増設を抜本的に強めること。

（3）地震防災対策を強化するために予算も人も抜本的に強め、具体的には国基準の必要数より大幅に少ない消防職員・救急隊員を大幅増員すること、住宅耐震化の予算を大幅増額すること、市民生活に身近な道路・公園の整備・維持補修予算を大幅増額すること、ＪＲ武蔵小杉駅など危険な駅へのホームドア設置へ市として全力で取り組むこと。　以上

市民アンケート
の分析

市民アンケート２０１６の分析

１、市民アンケート2016の実施方法など

（１）アンケート配布方法　全戸配布
（２）アンケート回収方法　受取人支払いによる郵送
（３）アンケート配布・回収期間　2016年11月4日～2017年3月24日

２、アンケートの回答者

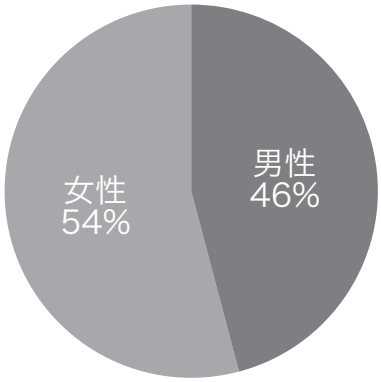
（１）有効受け取り総数は4,247通（2017年3月26日現在）
（２）回答者の性別、居住区、職業（収入源）は別表の通り。
（３）複数回答可としていない設問（１及び４）で複数回答している回答者を除く有効回答者数は3,939通となる。

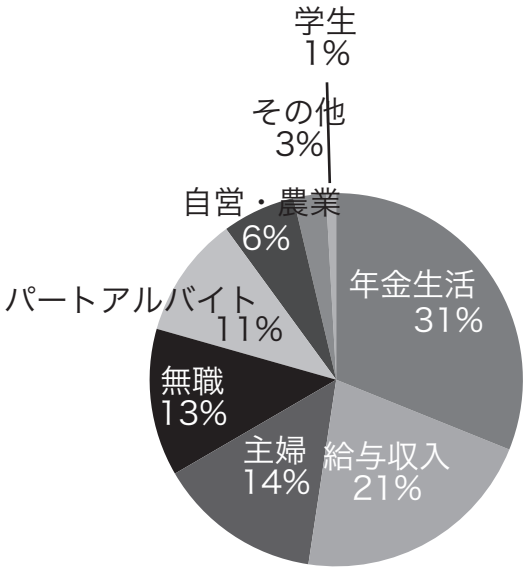
受取日	受取累計
2016/11/6	0
2016/11/13	409
2016/11/20	1,058
2016/11/27	1,778
2016/12/4	2,512
2016/12/11	3,126
2016/12/18	3,571
2016/12/25	3,782
2017/1/1	3,956
2017/2/5	4,205
2017/3/5	4,236
2017/3/26	4,247

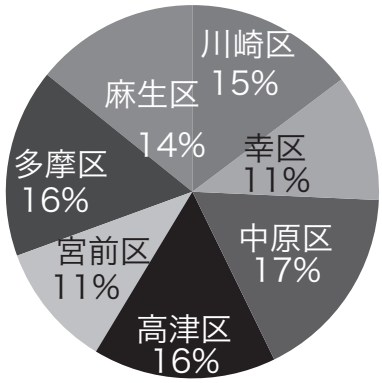
職業	回答数
年金生活	951
会社員	651
主婦	435
無職	391
パートアルバイト	323
自営・農業	194
その他	86
学生	27
合計	3,058

性別	回答数
男性	902
女性	1,064
合計	1,966

住まい（行政区）	世帯数(17/3/1)	回答数	1万世帯当り回答数
川崎区	113,262	603	53.2
幸区	77,127	450	58.3
中原区	125,774	699	55.6
高津区	108,994	650	59.6
宮前区	96,554	442	45.8
多摩区	107,944	670	62.1
麻生区	75,030	582	77.6
合計	704,685	4,096	58.1
その他・不明		151	
総合計		4,247	



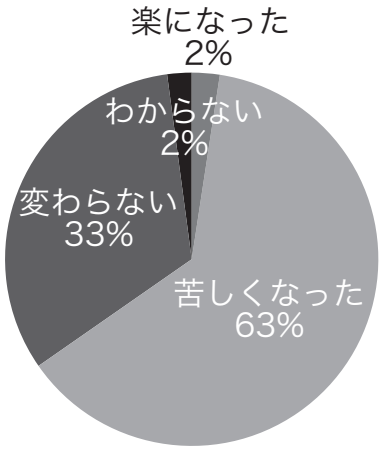




3、アンケートの単純集計

問１　あなたの毎日の暮らし向きは、ここ数年でどう変わりましたか
選択肢　１、楽になった　２、苦しくなった　３、変わらない　４、わからない

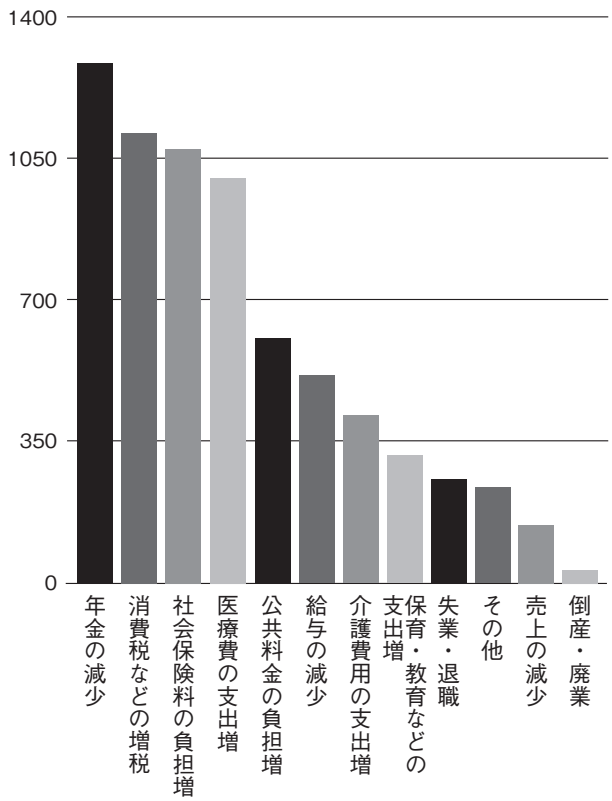
63%が「苦しくなった」とし、33%が「変わらない」とし、両者で96%を占めている。「楽になった」とする人はわずかでしかない。



選択肢	有効回答数
楽になった	95
苦しくなった	2,478
変わらない	1,283
わからない	83
合計	3,939

問２　前の質問で「苦しくなった」とお答えの方、その理由をお選び下さい（複数回答可）　選択肢　１～１２（表の通り）

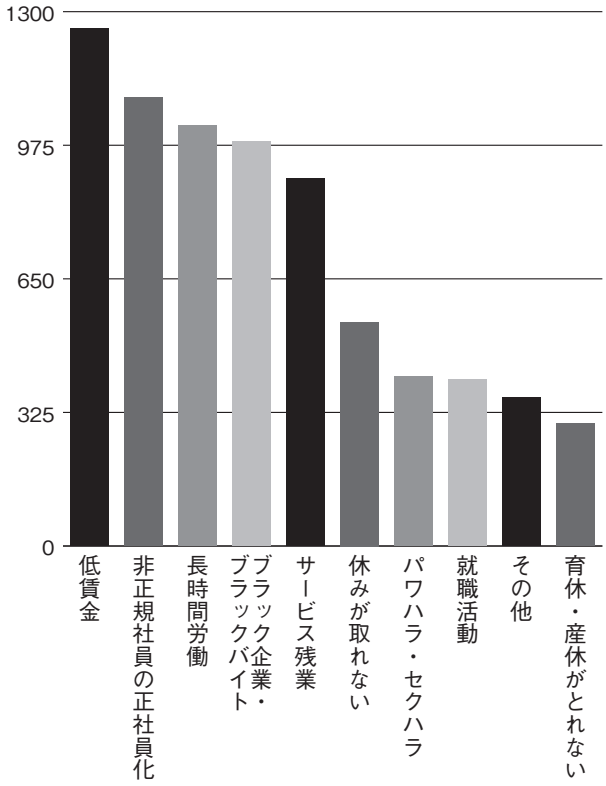
有効回答数の多い順に並べてある。「年金の減少」（有効回答者に対する項目選択者の割合は32.5%。以下同じ）「消費税などの増税」（28.2%）「社会保険料の負担増」（27.2%）「医療費の支出増」
（25.4%）が突出している。



選択肢	有効回答数	選択者
年金の減少	1,280	32.5%
消費税などの増税	1,109	28.2%
社会保険料の負担増	1,070	27.2%
医療費の支出増	999	25.4%
公共料金の負担増	602	15.3%
給与の減少	510	12.9%
介護費用の支出増	413	10.5%
保育・教育などの支出増	317	8.0%
失業・退職	256	6.5%
その他	239	6.1%
売上の減少	142	3.6%
倒産・廃業	32	0.8%
合計	6,969	177%

問３　働き方・雇用の問題で関心のあることはなんですか（複数回答可）
選択肢　１～１０（表の通り）

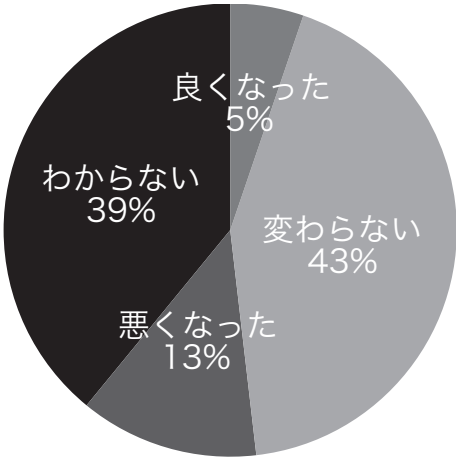
有効回答数の多い順に並べてある。「低賃金」（32.0%）「非正規社員の正社員化」（27.7%）「長時間残業」（26.0%）「ブラック企業・ブラックバイト」（25.0%）「サービス残業」（22.7%）がトップ５になる。「低賃金」は約3人に一人が選択している。



選択肢	有効回答数	選択者
低賃金	1,259	32.0%
非正規社員の正社員化	1,091	27.7%
長時間労働	1,023	26.0%
ブラック企業・ブラックバイト	985	25.0%
サービス残業	895	22.7%
休みが取れない	545	13.8%
パワハラ・セクハラ	413	10.5%
就職活動	406	10.3%
その他	361	9.2%
育休・産休がとれない	299	7.6%
合計	7,277	185%

問４　福田市長になって３年たちますが、前市長の時代と比べて市政をどう感じますか？
選択肢　1、よくなったと思う　2、悪くなったと思う　3、変わらない　4、わからない

「変わらない」（43%）とする人と「わからない」（39%）とする人を合わせると、全体の82%となり、変化を感じていない人が大多数を占めている。「悪くなったと思う」とする人は１３%ほどで、「よくなったと思う」（5%）とする人はさらにその半分以下となっている。

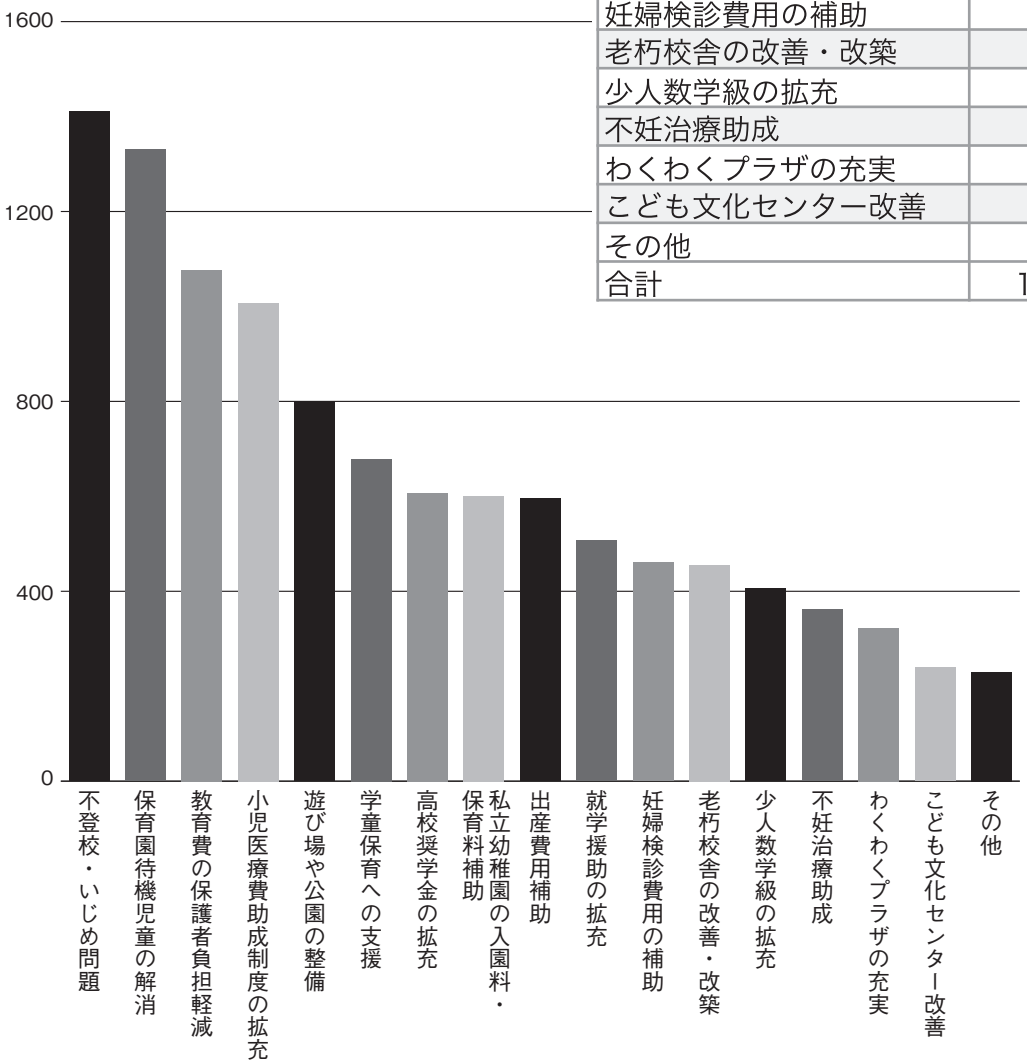


選択肢	有効回答数
よくなったと思う	206
変わらない	1,691
悪くなったと思う	503
わからない	1,539
合計	3,939

問５　子育て・教育で力を入れてほしいことは何ですか？（複数回答可）
選択肢　１～１７

有効回答数の多い順に並べてある。「不登校・いじめ問題」（35.8%）「保育園待機時の解消」（33.8%）が２トップで、「教育費の保護者負担軽減」（27.3%）「小児医療費助成制度の拡充」（25.6%）が続く。この設問では回答者は平均２.８項目を選択している。

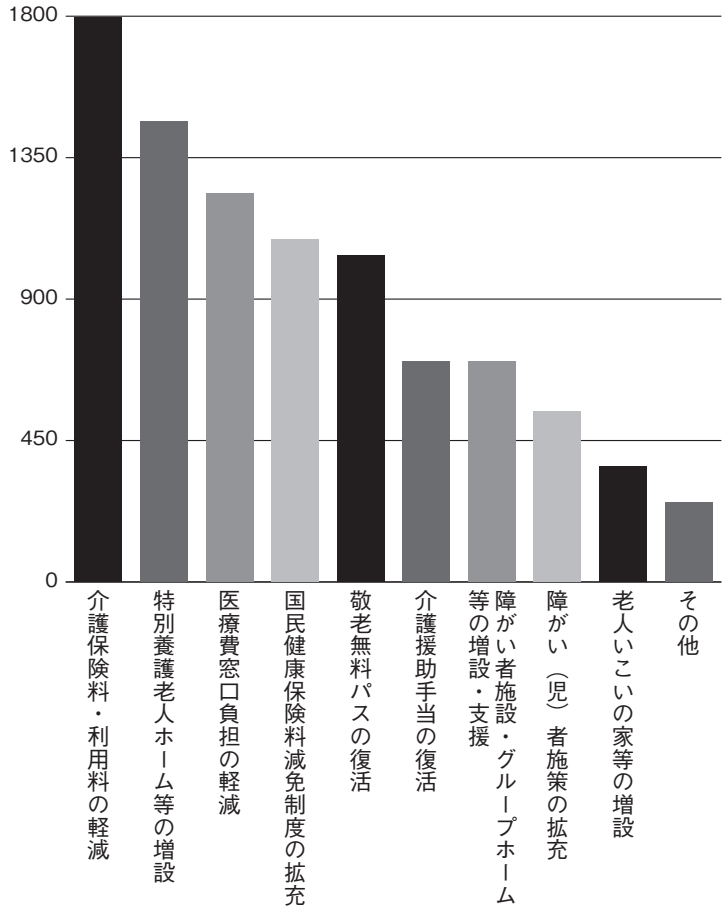
選択肢	有効回答数	選択者
不登校・いじめ問題	1,410	35.8%
保育園待機児童の解消	1,331	33.8%
教育費の保護者負担軽減	1,077	27.3%
小児医療費助成制度の拡充	1,007	25.6%
遊び場や公園の整備	800	20.3%
学童保育への支援	679	17.2%
高校奨学金の拡充	607	15.4%
私立幼稚園の入園料・保育料補助	601	15.3%
出産費用補助	595	15.1%
就学援助の拡充	507	12.9%
妊婦検診費用の補助	460	11.7%
老朽校舎の改善・改築	455	11.6%
少人数学級の拡充	406	10.3%
不妊治療助成	361	9.2%
わくわくプラザの充実	323	8.2%
こども文化センター改善	240	6.1%
その他	230	5.8%
合計	11,089	282%



問６　高齢者・障害者、福祉施策で力を入れてほしいことは何ですか？（複数回答可）
選択肢　１～１０

有効回答数の多い順に並べてある。「介護保険料・利用料の軽減」（45.6%）「特別養護老人ホーム等の増設」（37.2%）「医療費窓口負担の軽減」（31.4%）の３項目で選択数のほぼ半数（48.9%=（1,797+1,464+1,236）/9,193）に達する。「介護保険料・利用料の軽減」はほぼ２人に１人が選択している。「国民健康保険料減免制度の拡充」（27.6%）「敬老無料パスの復活」（26.4%）までの５項目で選択数の７２％に達する。

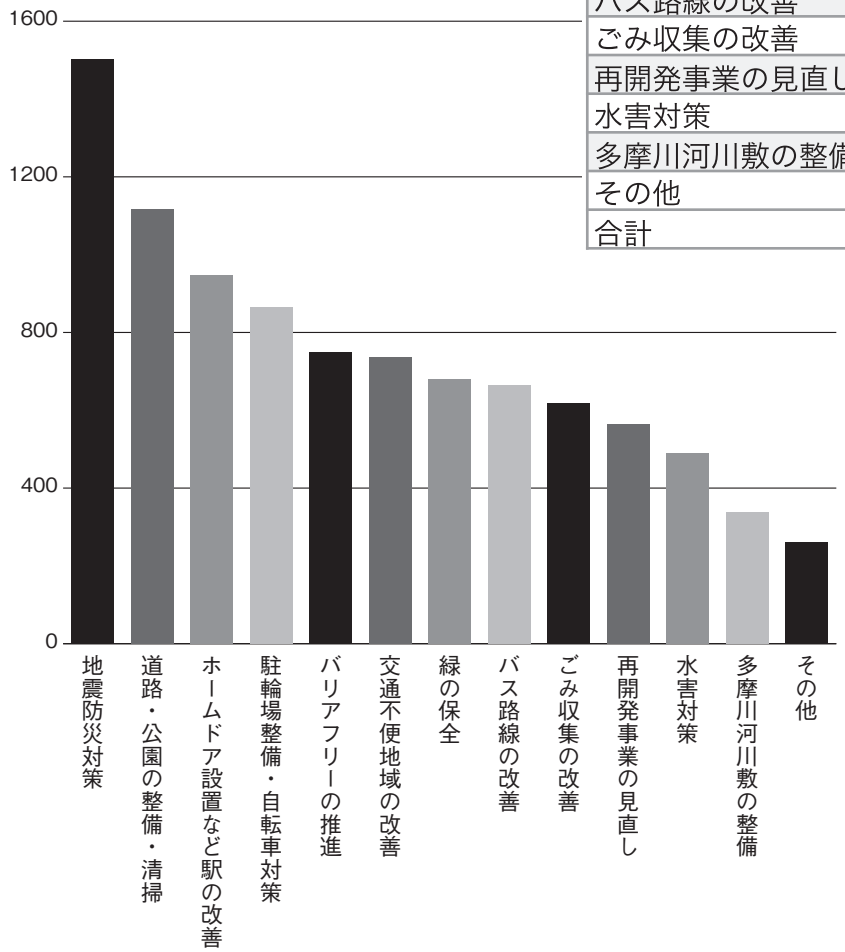
選択肢	有効回答数	選択者
介護保険料・利用料の軽減	1,797	45.6%
特別養護老人ホーム等の増設	1,464	37.2%
医療費窓口負担の軽減	1,236	31.4%
国民健康保険料減免制度の拡充	1,089	27.6%
敬老無料パスの復活	1,039	26.4%
介護援助手当の復活	703	17.8%
障がい者施設・グループホーム等の増設・支援	703	17.8%
障がい（児）者施策の拡充	542	13.8%
老人いこいの家等の増設	368	9.3%
その他	252	6.4%
合計	9,193	233%



問７　まちづくりで力を入れてほしいことは何ですか？（複数回答可）
選択肢　１～１３

有効回答数の多い順に並べてある。「地震防災対策」（38.1%）が１トップで3人に一人が要望。「道路・公園の整備・清掃」（28.4%）「ホームドア設置など駅の改善」（24.0%）と続く。全体として１人が２.４項目を選択している。

選択肢	有効回答数	選択者
地震防災対策	1,502	38.1%
道路・公園の整備・清掃	1,118	28.4%
ホームドア設置など駅の改善	946	24.0%
駐輪場整備・自転車対策	866	22.0%
バリアフリーの推進	748	19.0%
交通不便地域の改善	737	18.7%
緑の保全	679	17.2%
バス路線の改善	665	16.9%
ごみ収集の改善	619	15.7%
再開発事業の見直し	565	14.3%
水害対策	490	12.4%
多摩川河川敷の整備	338	8.6%
その他	262	6.7%
合計	9,535	242%



4、アンケートのクロス集計

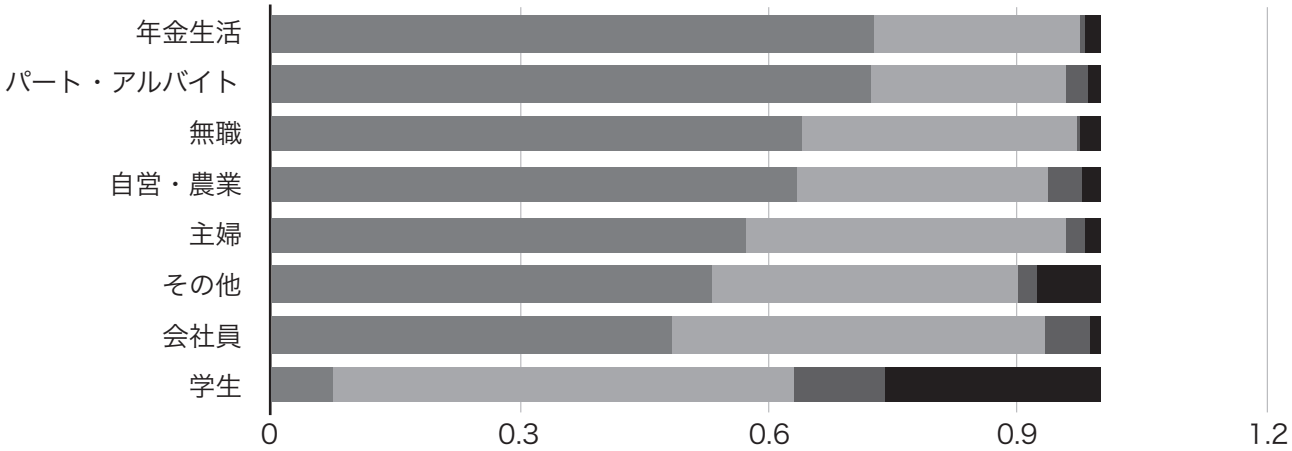
問１とのクロス集計

（1）職業との関係

職業グループ毎に問１の回答を見ると次表のようになっている。これをグループ毎に割合を計算し、「苦しくなった」の降順に職業を並べ替えてグラフにしたものがその下のグラフである。

	年金生活	会社員	主婦	無職	パート・アルバイト	自営・農業	その他	学生	合計
問１苦しくなった	636	300	234	234	219	116	42	2	1,783
問１変わらない	218	278	157	122	70	55	29	15	944
問１楽になった	5	35	9	1	8	8	2	3	71
問１わからない	17	8	8	9	5	4	6	7	64
合計	876	621	408	366	302	183	79	27	2,862

	年金生活	パート・アルバイト	無職	自営・農業	主婦	その他	会社員	学生
問１苦しくなった	72.6%	72.5%	63.9%	63.4%	57.4%	53.2%	48.3%	7.4%
問１変わらない	24.9%	23.2%	33.3%	30.1%	38.5%	36.7%	44.8%	55.6%
問１楽になった	0.6%	2.6%	0.3%	4.4%	2.2%	2.5%	5.6%	11.1%
問１わからない	1.9%	1.7%	2.5%	2.2%	2.0%	7.6%	1.3%	25.9%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



並べ替えた順に「苦しくなった」は当然減っていくが、「変わらない」がその順に増えていき、両者を合わせた割合は学生を除きどの職業もあまり変わらない値（89.9%～97.5%）になっている

年金生活、パートアルバイトは4人に3人が「苦しくなった」としているが、会社員では2人に１人になっている。「楽になった」とする人は会社員が半数（49.3%）を占める。

（2）問３との関係

問１の回答者グループ毎に問３の回答を見ると右表のようになっている。これをグループ毎に割合を計算し、「苦しくなった」グループの降順に問３の項目を並べたたものがその下の表である。

暮らしが「苦しくなった」人が最も関心を示したのが「低賃金」（19.9%）で、ついで「非正規社員の正社員化」（15.6%）に関心を示している。

「変わらない」人と「楽になった」人は１番に「長時間労働」（16.0～15.7%）、ついで「ブラック企業・ブラックバイト」（14.3～15.1%）「非正規社員の正社員化」（14.4～12.4%）に関心を示している。

（3）問４との関係

問１の回答者グループ毎に問４の回答を見ると右表のようになっている。暮らしが「苦しくなった」あるいは「変わらない」人は、市政は「変わらない」と評価する人が１番多く、暮らしが「楽になった」人は市政は「わかならい」が１番多い。市政が「悪くなったと思う」人は暮らしが「苦しくなった」人に特別に高い。

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない	合計
問３低賃金	904	308	20	27	1,259
問３非正規社員の正社員化	708	344	23	16	1,091
問３ブラック企業・ブラックバイト	594	341	28	22	985
問３長時間労働	593	381	29	20	1,023
問３サービス残業	523	328	22	22	895
問３休みが取れない	317	207	11	10	545
問３就職活動	255	126	11	14	406
問３パワハラ・セクハラ	248	139	14	12	413
問３その他	236	96	15	14	361
問３育休・産休がとれない	162	116	12	9	299
合計	4,540	2,386	185	166	7,277

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問３低賃金	19.9%	12.9%	10.8%	16.3%
問３非正規社員の正社員化	15.6%	14.4%	12.4%	9.6%
問３ブラック企業・ブラックバイト	13.1%	14.3%	15.1%	13.3%
問３長時間労働	13.1%	16.0%	15.7%	12.0%
問３サービス残業	11.5%	13.7%	11.9%	13.3%
問３休みが取れない	7.0%	8.7%	5.9%	6.0%
問３就職活動	5.6%	5.3%	5.9%	8.4%
問３パワハラ・セクハラ	5.5%	5.8%	7.6%	7.2%
問３その他	5.2%	4.0%	8.1%	8.4%
問３育休・産休がとれない	3.6%	4.9%	6.5%	5.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問４悪くなったと思う	433	63	5	2
問４変わらない	1023	626	32	10
問４よくなったと思う	90	94	19	3
問４わからない	932	500	39	68
合計	2478	1283	95	83

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問４悪くなったと思う	17.5%	4.9%	5.3%	2.4%
問４変わらない	41.3%	48.8%	33.7%	12.0%
問４よくなったと思う	3.6%	7.3%	20.0%	3.6%
問４わからない	37.6%	39.0%	41.1%	81.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

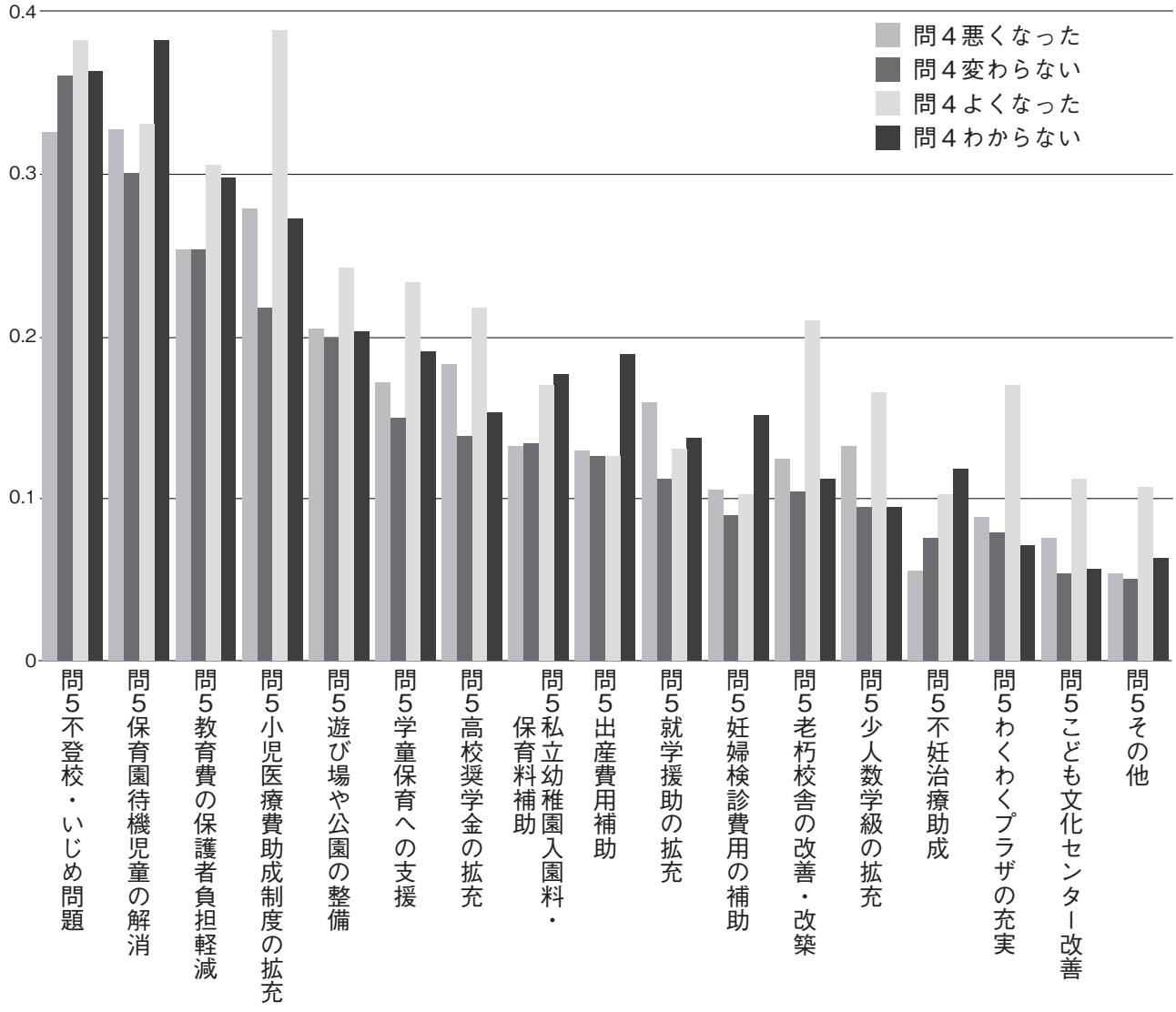
問４とのクロス集計

（1）問５との関係

問４の市政動向評価グループ毎に問５の子育て・教育施策の要望を集計したのが下の表である。これを市政動向評価グループ内の割合で示したのがその下の表である。これをグラフにしたのがその下のグラフである。要望項目は合計数の降順に並べてある。

	問４悪くなった	問４変わらない	問４よくなった	問４わからない
問５不登校・いじめ問題	164	609	79	558
問５保育園待機児童の解消	165	508	68	590
問５教育費の保護者負担軽減	128	428	63	458
問５小児医療費助成制度の拡充	140	369	80	418
問５遊び場や公園の整備	103	335	50	312
問５学童保育への支援	86	252	48	293
問５高校奨学金の拡充	92	234	45	236
問５私立幼稚園入園料・保育料補助	67	226	35	273
問５出産費用補助	65	213	26	291
問５就学援助の拡充	80	189	27	211
問５妊婦検診費用の補助	53	152	21	234
問５老朽校舎の改善・改築	63	176	43	173
問５少人数学級の拡充	67	159	34	146
問５不妊治療助成	28	129	21	183
問５わくわくプラザの充実	45	134	35	109
問５こども文化センター改善	38	92	23	87
問５その他	27	84	22	97
有効回答数	503	1,691	206	1,539

	問４悪くなった	問４変わらない	問４よくなった	問４わからない
問５不登校・いじめ問題	32.6%	36.0%	38.3%	36.3%
問５保育園待機児童の解消	32.8%	30.0%	33.0%	38.3%
問５教育費の保護者負担軽減	25.4%	25.3%	30.6%	29.8%
問５小児医療費助成制度の拡充	27.8%	21.8%	38.8%	27.2%
問５遊び場や公園の整備	20.5%	19.8%	24.3%	20.3%
問５学童保育への支援	17.1%	14.9%	23.3%	19.0%
問５高校奨学金の拡充	18.3%	13.8%	21.8%	15.3%
問５私立幼稚園入園料・保育料補助	13.3%	13.4%	17.0%	17.7%
問５出産費用補助	12.9%	12.6%	12.6%	18.9%
問５就学援助の拡充	15.9%	11.2%	13.1%	13.7%
問５妊婦検診費用の補助	10.5%	9.0%	10.2%	15.2%
問５老朽校舎の改善・改築	12.5%	10.4%	20.9%	11.2%
問５少人数学級の拡充	13.3%	9.4%	16.5%	9.5%
問５不妊治療助成	5.6%	7.6%	10.2%	11.9%
問５わくわくプラザの充実	8.9%	7.9%	17.0%	7.1%
問５こども文化センター改善	7.6%	5.4%	11.2%	5.7%
問５その他	5.4%	5.0%	10.7%	6.3%
合計	281%	254%	350%	303%



市政動向の評価が違っても、全体の要望数順に並べた傾向に沿っていることがわかるが、いくつかの点では異なっている。

「よくなったと思う」グループは、一人３.５項目を選択し、他の評価グループの選択項目数（2.8～2.5項目）より多く、要望事項が多い。第１位が「小児医療費助成制度の拡充」（38.8%）で、「老旧校舎の改善・改築」（20.9%）「わくわくプラザの充実」（17.0%）などは他評価者と比べて突出している。

「わからない」と評価するグループは、「保育園待機児童の解消」（38.3%）「私立幼稚園入園料・保育料補助」（17.7%）「出産費用補助」（18.9%）「妊婦検診費用の補助」（15.2%）などで他グループより多くの人が選択している。

「変わらない」と評価するグループは、グループ人数は一番なのに、一人当たりの選択数は最小（2.5項目）で、特別に強い要望項目は見当たらない。

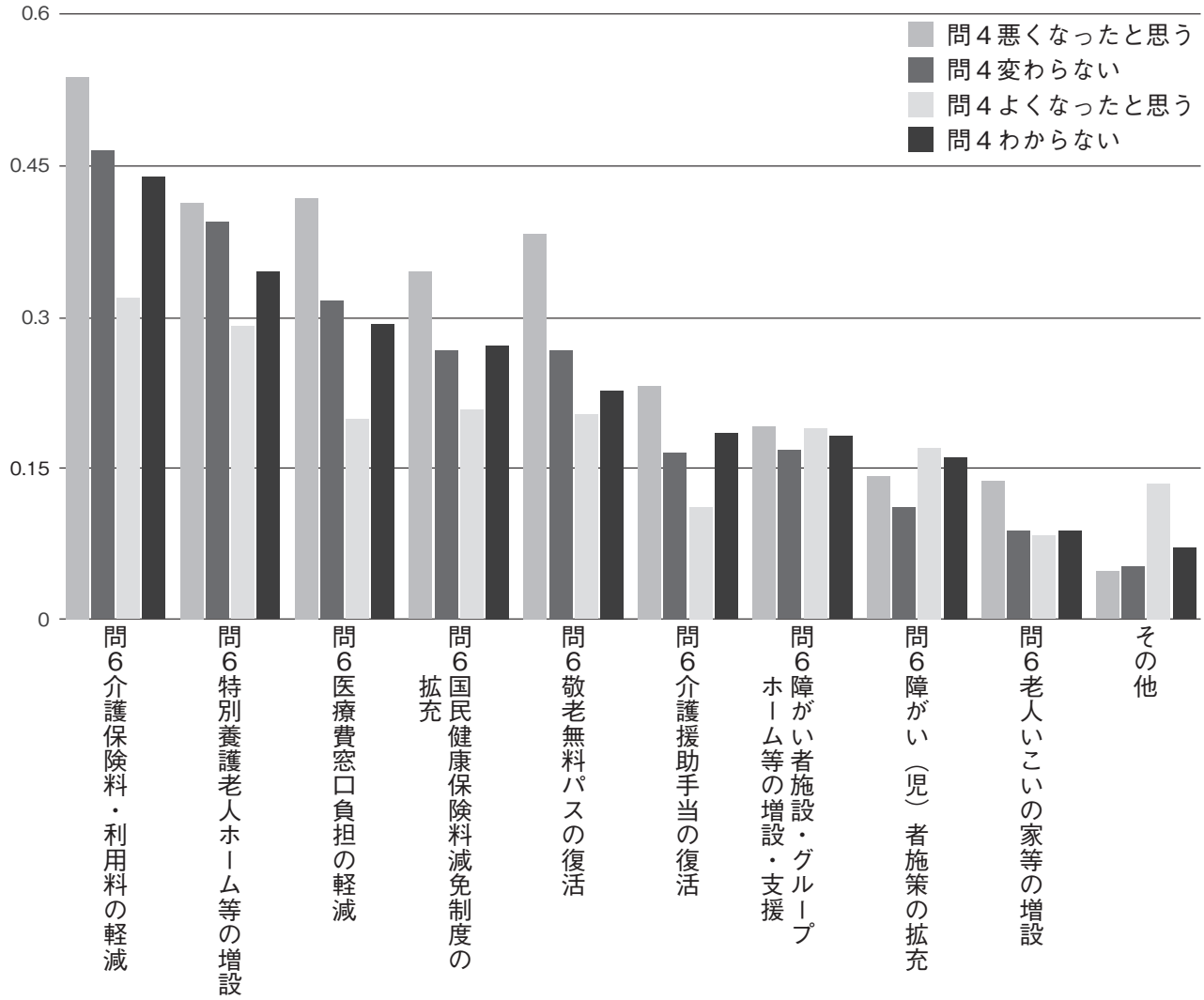
「悪くなったと思う」と評価するグループは、「就学援助の拡充」（15.9%）が他グループより強い。

（2）問６との関係

問４の市政動向評価グループ毎に問６の高齢者・障がい者、福祉施策の要望を集計したのが下の表である。これを市政動向評価グループ内の割合で示したのがその下の表である。これをグラフにしたのがその下のグラフである。要望項目は合計数の降順に並べてある。

	問４悪くなった	問４変わらない	問４よくなった	問４わからない
問６介護保険料・利用料の軽減	271	785	66	675
問６特別養護老人ホーム等の増設	208	666	60	530
問６医療費窓口負担の軽減	211	534	41	450
問６国民健康保険料減免制度の拡充	173	454	43	419
問６敬老無料パスの復活	192	454	42	351
問６介護援助手当の復活	116	281	23	283
問６障がい者施設・グループホーム等の増設・支援	96	286	39	282
問６障がい（児）者施策の拡充	72	188	35	247
問６老人いこいの家等の増設	69	148	17	134
その他	24	90	28	110
有効回答数	503	1691	206	1539

	問４悪くなった	問４変わらない	問４よくなった	問４わからない
問６介護保険料・利用料の軽減	53.9%	46.4%	32.0%	43.9%
問６特別養護老人ホーム等の増設	41.4%	39.4%	29.1%	34.4%
問６医療費窓口負担の軽減	41.9%	31.6%	19.9%	29.2%
問６国民健康保険料減免制度の拡充	34.4%	26.8%	20.9%	27.2%
問６敬老無料パスの復活	38.2%	26.8%	20.4%	22.8%
問６介護援助手当の復活	23.1%	16.6%	11.2%	18.4%
問６障がい者施設・グループホーム等の増設・支援	19.1%	16.9%	18.9%	18.3%
問６障がい（児）者施策の拡充	14.3%	11.1%	17.0%	16.0%
問６老人いこいの家等の増設	13.7%	8.8%	8.3%	8.7%
その他	4.8%	5.3%	13.6%	7.1%
合計	284.7%	229.8%	191.3%	226.2%



市政動向の評価が違っても全体での要望項目数順に並べた傾向に沿っていることは他と同様であるが、いくつかの点では異なっている。

「悪くなったと思う」グループは一人が２.８項目を選択しており、「よくなったと思う」グループは一人が１.９項目と最も選択数が少ない。

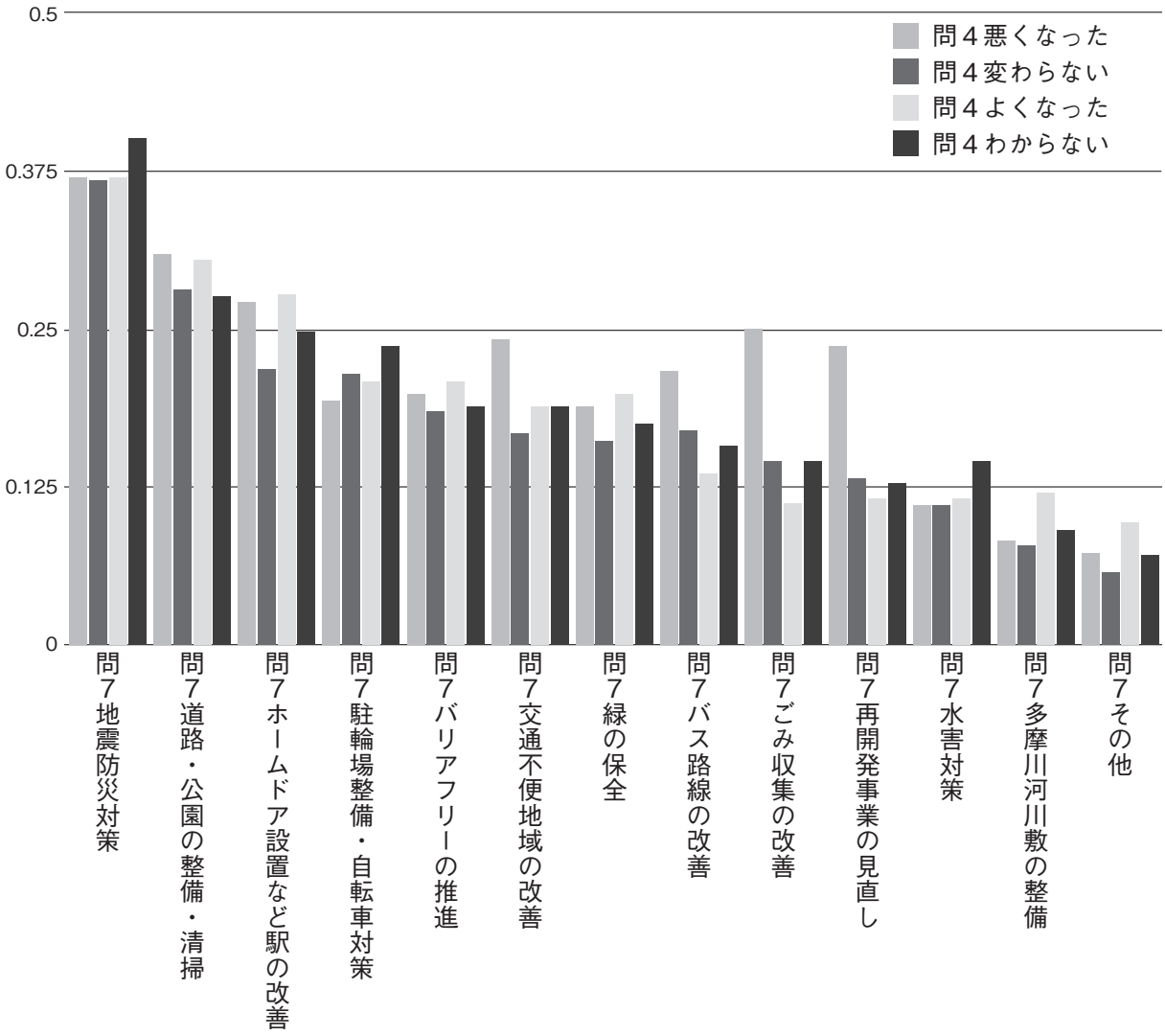
「悪くなったと思う」グループは「介護保険料・利用料の軽減」（53.9%）「特別養護老人ホーム等の増設」（41.4%）「医療費窓口負担の軽減」（41.9%）「国民健康保険料減免制度の拡充」（34.4%）「敬老無料パスの復活」（38.2%）「介護援助手当の復活」（23.1%）を他グループより高く要望している。特に「医療費窓口負担の軽減」「敬老無料パスの復活」は他グループより突出している。

（3）問７との関係

問４の市政動向評価グループ毎に問７のまちづくり施策の要望を集計したのが下の表である。これを市政動向評価グループ内の割合で示したのがその下の表である。これをグラフにしたのがその下のグラフである。要望項目は合計数の降順に並べてある。

	問４悪くなった	問４変わらない	問４よくなった	問４わからない
問７地震防災対策	186	622	76	618
問７道路・公園の整備・清掃	156	475	63	424
問７ホームドア設置など駅の改善	137	371	57	381
問７駐輪場整備・自転車対策	97	363	43	363
問７バリアフリーの推進	100	314	43	291
問７交通不便地域の改善	122	284	39	292
問７緑の保全	95	272	41	271
問７バス路線の改善	109	287	28	241
問７ごみ収集の改善	126	245	23	225
問７再開発事業の見直し	119	225	24	197
問７水害対策	56	186	24	224
問７多摩川河川敷の整備	42	133	25	138
問７その他	37	96	20	109
有効回答数	503	1691	206	1539

	問４悪くなった	問４変わらない	問４よくなった	問４わからない
問７地震防災対策	37.0%	36.8%	36.9%	40.2%
問７道路・公園の整備・清掃	31.0%	28.1%	30.6%	27.6%
問７ホームドア設置など駅の改善	27.2%	21.9%	27.7%	24.8%
問７駐輪場整備・自転車対策	19.3%	21.5%	20.9%	23.6%
問７バリアフリーの推進	19.9%	18.6%	20.9%	18.9%
問７交通不便地域の改善	24.3%	16.8%	18.9%	19.0%
問７緑の保全	18.9%	16.1%	19.9%	17.6%
問７バス路線の改善	21.7%	17.0%	13.6%	15.7%
問７ごみ収集の改善	25.0%	14.5%	11.2%	14.6%
問７再開発事業の見直し	23.7%	13.3%	11.7%	12.8%
問７水害対策	11.1%	11.0%	11.7%	14.6%
問７多摩川河川敷の整備	8.3%	7.9%	12.1%	9.0%
問７その他	7.4%	5.7%	9.7%	7.1%
有効回答数	275%	229%	246%	245%



市政動向への評価が違っても全体での要望項目数順に並べた傾向に沿っていることは他と同様であるが、いくつかの点では異なっている。

一人当たりの選択数は、これまでの施策ほど大きな差はなく、平均していると言える。全体的にグループ間の差異は２項目を除き大きくは見られない。

「悪くなったと思う」グループは、「ごみ収集の改善」（25.0%）「再開発事業の見直し」（23.7%）において他グループより突出して（倍近い割合で）要望している。「交通不便地域の改善」（24.3%）「バス路線の改善」（21.7%）もその傾向が強く現れている。

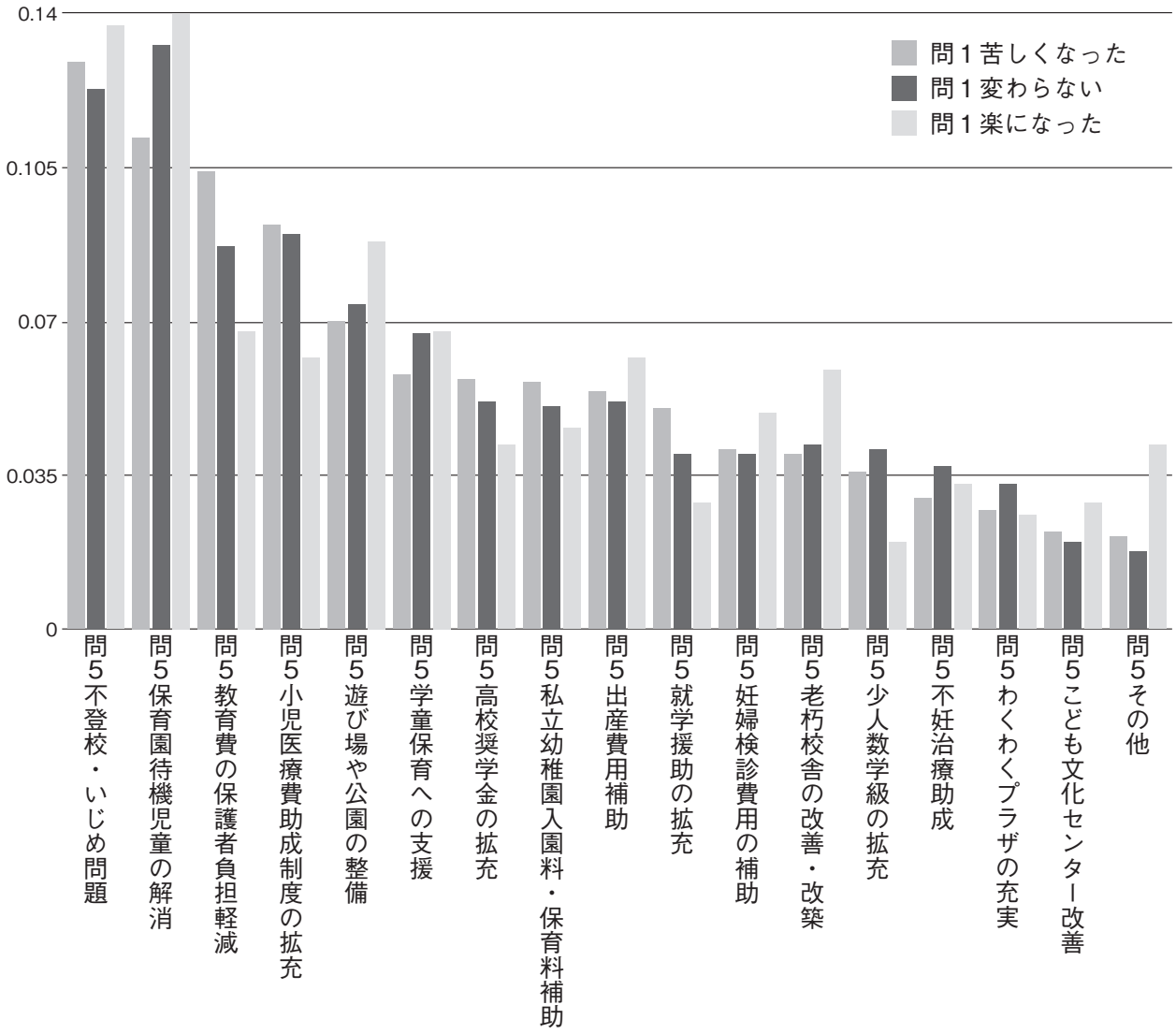
問１とのクロス集計（問５～問７）

（1）問５との関係

問１の暮らし向きのグループ毎に、問５の子育て施策・教育の要望を集計したのが下の表である。これをグループ内の割合で示したのがその下の表である。これをグラフにしたのがその下のグラフである。要望項目は合計数の降順に並べてある。

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問５不登校・いじめ問題	897	444	42	27
問５保育園待機児童の解消	774	483	43	31
問５教育費の保護者負担軽減	721	316	21	19
問５小児医療費助成制度の拡充	640	327	19	21
問５遊び場や公園の整備	483	268	27	22
問５学童保育への支援	401	243	21	14
問５高校奨学金の拡充	396	188	13	10
問５私立幼稚園入園料・保育料補助	386	186	14	15
問５出産費用補助	373	187	19	16
問５就学援助の拡充	345	145	9	8
問５妊婦検診費用の補助	286	145	15	14
問５老朽校舎の改善・改築	276	152	18	9
問５少人数学級の拡充	248	147	6	5
問５不妊治療助成	210	133	10	8
問５わくわくプラザの充実	188	118	8	9
問５こども文化センター改善	155	72	9	4
問５その他	148	64	13	5
合計	6927	3618	307	237

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問５不登校・いじめ問題	12.9%	12.3%	13.7%	11.4%
問５保育園待機児童の解消	11.2%	13.3%	14.0%	13.1%
問５教育費の保護者負担軽減	10.4%	8.7%	6.8%	8.0%
問５小児医療費助成制度の拡充	9.2%	9.0%	6.2%	8.9%
問５遊び場や公園の整備	7.0%	7.4%	8.8%	9.3%
問５学童保育への支援	5.8%	6.7%	6.8%	5.9%
問５高校奨学金の拡充	5.7%	5.2%	4.2%	4.2%
問５私立幼稚園入園料・保育料補助	5.6%	5.1%	4.6%	6.3%
問５出産費用補助	5.4%	5.2%	6.2%	6.8%
問５就学援助の拡充	5.0%	4.0%	2.9%	3.4%
問５妊婦検診費用の補助	4.1%	4.0%	4.9%	5.9%
問５老朽校舎の改善・改築	4.0%	4.2%	5.9%	3.8%
問５少人数学級の拡充	3.6%	4.1%	2.0%	2.1%
問５不妊治療助成	3.0%	3.7%	3.3%	3.4%
問５わくわくプラザの充実	2.7%	3.3%	2.6%	3.8%
問５こども文化センター改善	2.2%	2.0%	2.9%	1.7%
問５その他	2.1%	1.8%	4.2%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



グラフでは傾向をはっきりさせるために、問１の回答を「苦しくなった」「変わらない」「楽になった」の順に並び替え、「問１わからない」は除いた。

「苦しくなった」人が「楽になった」人より要望が高い項目は、「教育費の保護者負担軽減」「小医療費助成制度の拡充」「高校奨学金の拡充」「私立幼稚園入園料・保育料補助」「就学援助の補助」などで、直接的支援の要望が強くあげられている。

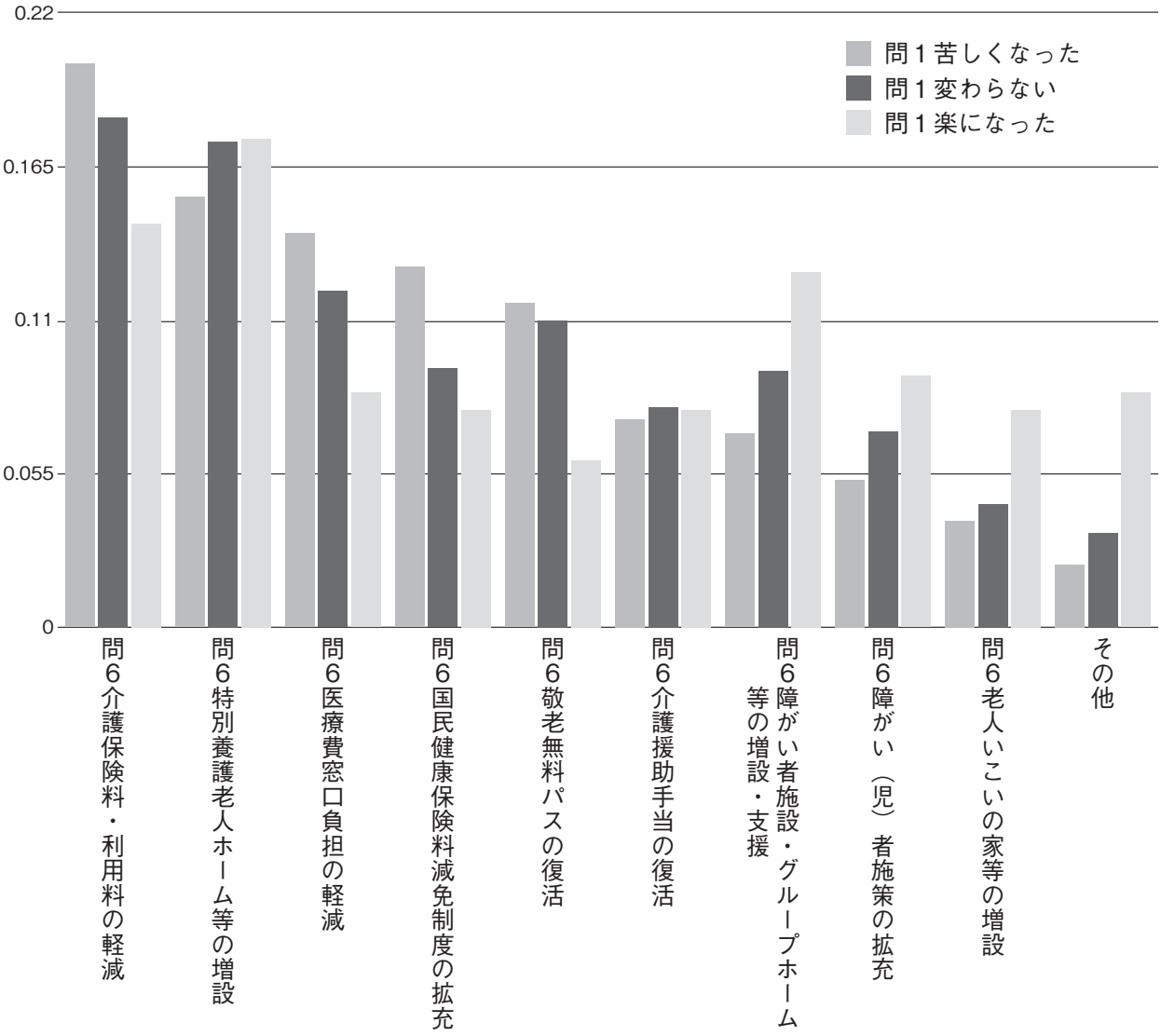
逆に「楽になった」人が「苦しくなった」人より要望が高い項目は、「保育園待機児童の解消」「遊びや公園の整備」「学童保育への支援」「老旧校舎の改善・改築」などで、施設整備の要望が強くあげられている。

（2）問６との関係

問１の暮らし向きのグループ毎に、問６の高齢者・障がい者施策の要望を集計したのが下の表である。これをグループ内の割合で示したのがその下の表である。これをグラフにしたのがその下のグラフである。

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問６介護保険料・利用料の軽減	1266	472	24	35
問６特別養護老人ホーム等の増設	964	450	29	21
問６医療費窓口負担の軽減	888	310	14	24
問６国民健康保険料減免制度の拡充	813	241	13	22
問６敬老無料パスの復活	726	283	10	20
問６介護援助手当の復活	470	204	13	16
問６障がい者施設・グループホーム等の増設・支援	436	237	21	9
問６障がい（児）者施策の拡充	335	181	15	11
問６老人いこいの家等の増設	237	114	13	4
その他	144	87	14	7
	6279	2579	166	169

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問６介護保険料・利用料の軽減	20.2%	18.3%	14.5%	20.7%
問６特別養護老人ホーム等の増設	15.4%	17.4%	17.5%	12.4%
問６医療費窓口負担の軽減	14.1%	12.0%	8.4%	14.2%
問６国民健康保険料減免制度の拡充	12.9%	9.3%	7.8%	13.0%
問６敬老無料パスの復活	11.6%	11.0%	6.0%	11.8%
問６介護援助手当の復活	7.5%	7.9%	7.8%	9.5%
問６障がい者施設・グループホーム等の増設・支援	6.9%	9.2%	12.7%	5.3%
問６障がい（児）者施策の拡充	5.3%	7.0%	9.0%	6.5%
問６老人いこいの家等の増設	3.8%	4.4%	7.8%	2.4%
その他	2.3%	3.4%	8.4%	4.1%
	100%	100%	100%	100%



グラフでは傾向をはっきりさせるために、問１の回答を「苦しくなった」「変わらない」「楽になった」の順に並び替え、「問１わからない」は除いた。

「苦しくなった」人が「楽になった」人より要望が強い項目は、「問６介護保険料・利用料の軽減」「問６医療費窓口負担の軽減」「問６国民健康保険料減免制度の拡充」「問６敬老無料パスの復活」などで、直接的支援の要望が強くあげられる。

逆に「楽になった」人が「苦しくなった」人より要望が高い項目は、「問６特別養護老人ホーム等の増設」「問６障がい者施設・グループホーム等の増設・支援」「問６障がい（児）者施策の拡充」「問６老人いこいの家等の増設」などで、施設整備の要望が強くあげられている傾向にある。

「介護援助手当の復活」はグループ毎の差はほとんど見られない。

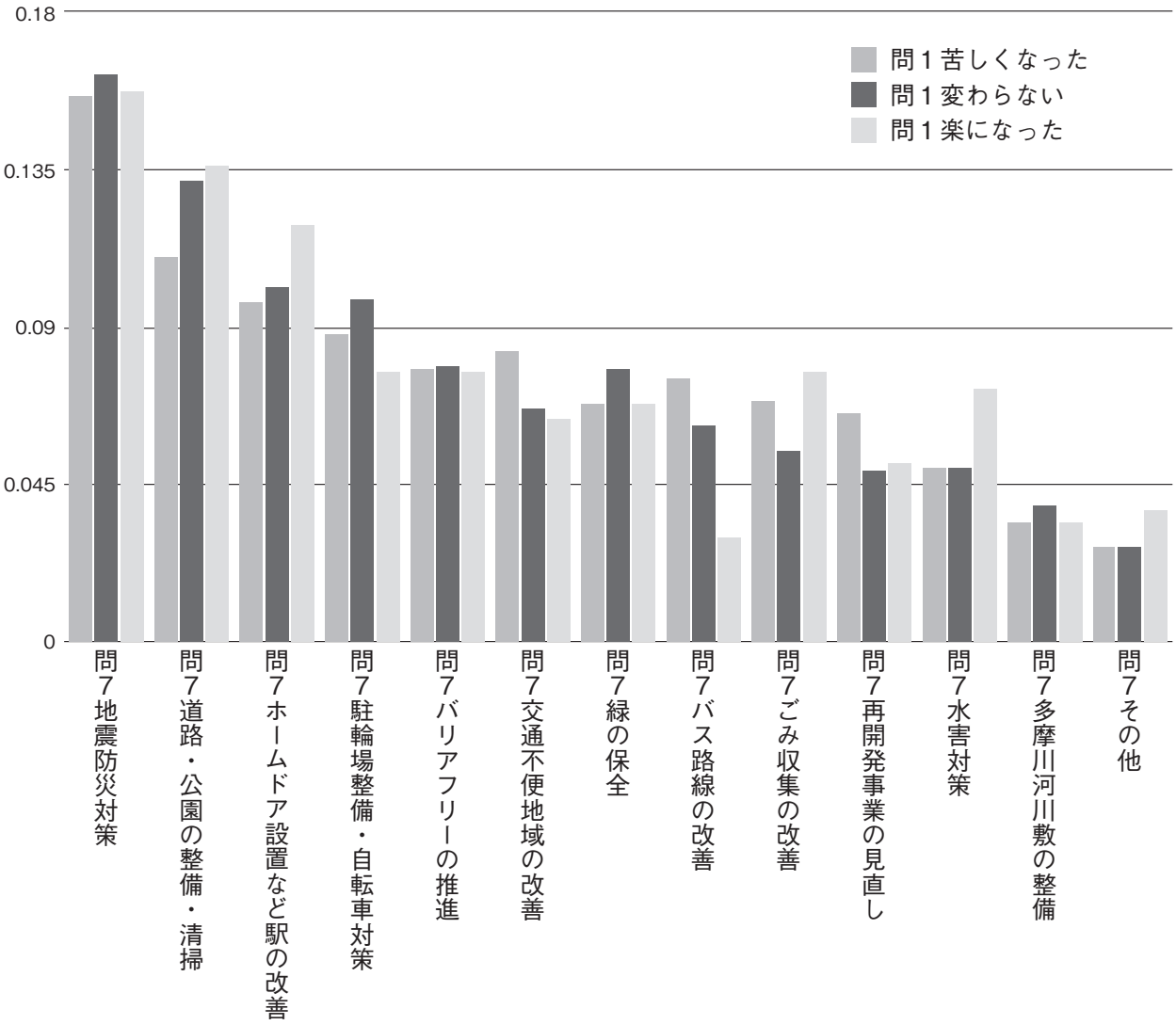
この項目では暮らし向きの傾向と要望の傾向は、子供の施策要望より鮮明になっている。

（3）問７との関係

問１の暮らし向きのグループ毎に、問７のまちづくり施策の要望を集計したのが下の表である。これをグループ内の割合で示したのがその下の表である。これをグラフにしたのがその下のグラフである。

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問７地震対策	962	470	37	33
問７道路公園整備清掃	680	383	32	23
問７ホームドア設置駅改善	601	294	28	23
問７駐輪場整備自転車対策	543	286	18	19
問７バリアフリーの推進	484	230	18	16
問７交通不便地域の改善	514	196	15	12
問７緑の保全	419	226	16	18
問７バス路線の改善	464	181	7	13
問７ごみ収集の改善	428	160	18	13
問７再開発事業の見直し	404	142	12	7
問７水害対策	311	146	17	16
問７多摩川河川敷の整備	211	114	8	5
問７その他	164	79	9	10
	6185	2907	235	208

	問１苦しくなった	問１変わらない	問１楽になった	問１わからない
問７地震対策	15.6%	16.2%	15.7%	15.9%
問７道路公園整備清掃	11.0%	13.2%	13.6%	11.1%
問７ホームドア設置駅改善	9.7%	10.1%	11.9%	11.1%
問７駐輪場整備自転車対策	8.8%	9.8%	7.7%	9.1%
問７バリアフリーの推進	7.8%	7.9%	7.7%	7.7%
問７交通不便地域の改善	8.3%	6.7%	6.4%	5.8%
問７緑の保全	6.8%	7.8%	6.8%	8.7%
問７バス路線の改善	7.5%	6.2%	3.0%	6.3%
問７ごみ収集の改善	6.9%	5.5%	7.7%	6.3%
問７再開発事業の見直し	6.5%	4.9%	5.1%	3.4%
問７水害対策	5.0%	5.0%	7.2%	7.7%
問７多摩川河川敷の整備	3.4%	3.9%	3.4%	2.4%
問７その他	2.7%	2.7%	3.8%	4.8%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



グラフでは傾向をはっきりさせるために、問1の回答を「苦しくなった」「変わらない」「楽になった」の順に並び替え、「問1わからない」は除いた。

「苦しくなった」人が「楽になった」人より要望が強い項目は、「交通不便地域の解消」「バス路線の改善」があげられる。

逆に「楽になった」人が「苦しくなった」人より要望が高い項目は、「道路・公園の整備・清掃」「ホームドア設置など駅の改善」「水害対策」があげられる。

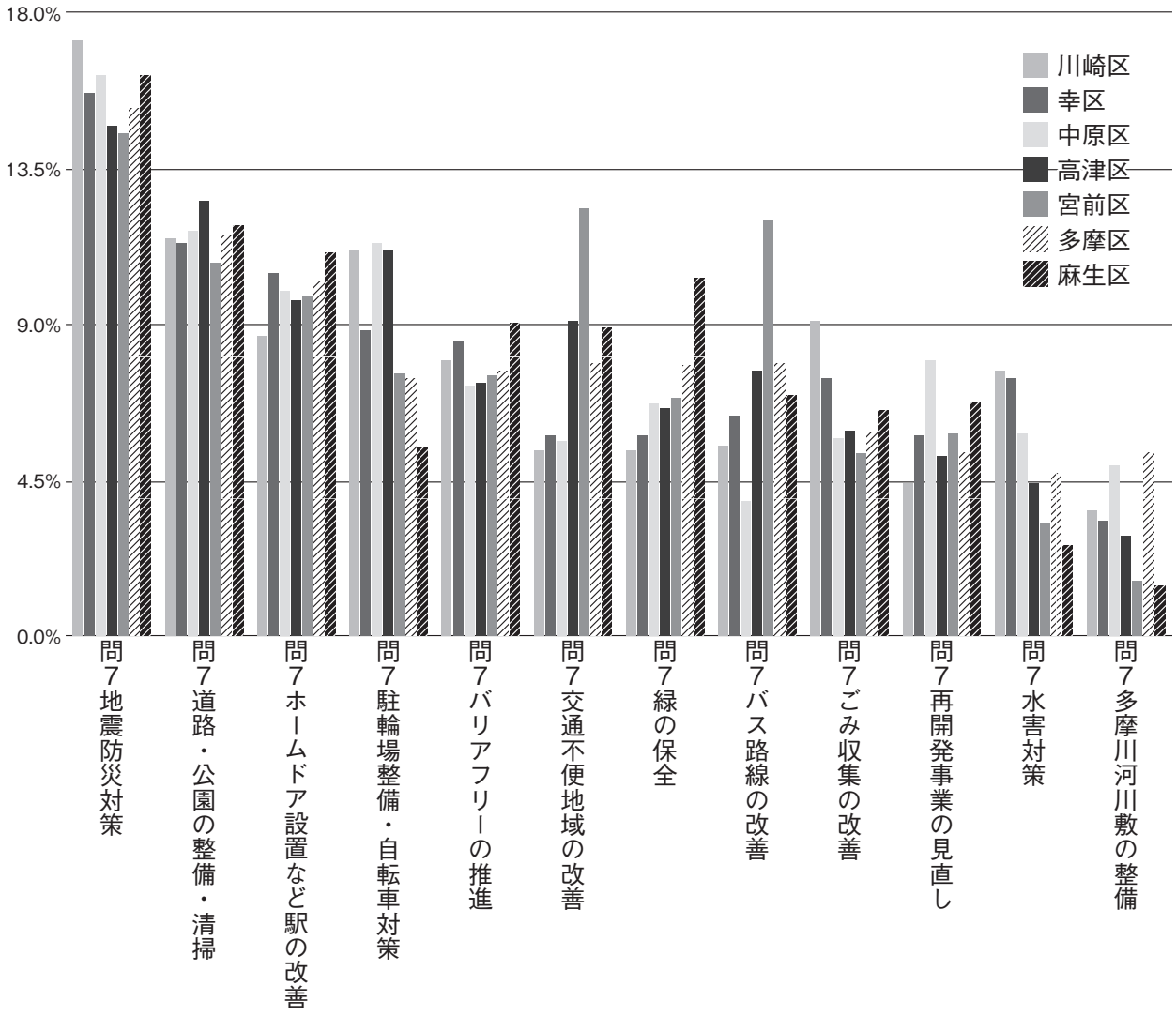
「地震防災対策」「バリアフリーの推進「緑の保全」「多摩川河川敷の整備」はグループ毎の差はほとんど見られない。

居住地とのクロス集計

回答者の属性である居住地毎に問７のまちづくり施策の要望を集計したのが下の表である。これを居住地毎の割合で示したのがその下の表である。これを「その他」を除きグラフにしたのがその下のグラフである。回答は合計の降順に並べてある。

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
問７地震防災対策	235	149	252	218	143	238	217
問７道路・公園の整備・清掃	157	108	182	186	106	180	159
問７ホームドア設置など駅の改善	119	100	155	143	97	160	148
問７駐輪場整備・自転車対策	152	84	176	165	75	116	73
問７バリアフリーの推進	109	81	113	108	74	120	121
問７交通不便地域の改善	73	55	88	135	122	123	119
問７緑の保全	73	55	105	98	68	122	138
問７バス路線の改善	75	61	61	114	118	123	93
問７ごみ収集の改善	124	71	89	88	52	91	87
問７再開発事業の見直し	60	55	124	77	58	82	90
問７水害対策	105	71	91	66	32	73	35
問７多摩川河川敷の整備	50	32	77	43	16	82	20
問７その他	33	30	42	38	25	48	38
	1365	952	1555	1479	986	1558	1338

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
問７地震防災対策	17.2%	15.7%	16.2%	14.7%	14.5%	15.3%	16.2%
問７道路・公園の整備・清掃	11.5%	11.3%	11.7%	12.6%	10.8%	11.6%	11.9%
問７ホームドア設置など駅の改善	8.7%	10.5%	10.0%	9.7%	9.8%	10.3%	11.1%
問７駐輪場整備・自転車対策	11.1%	8.8%	11.3%	11.2%	7.6%	7.4%	5.5%
問７バリアフリーの推進	8.0%	8.5%	7.3%	7.3%	7.5%	7.7%	9.0%
問７交通不便地域の改善	5.3%	5.8%	5.7%	9.1%	12.4%	7.9%	8.9%
問７緑の保全	5.3%	5.8%	6.8%	6.6%	6.9%	7.8%	10.3%
問７バス路線の改善	5.5%	6.4%	3.9%	7.7%	12.0%	7.9%	7.0%
問７ごみ収集の改善	9.1%	7.5%	5.7%	5.9%	5.3%	5.8%	6.5%
問７再開発事業の見直し	4.4%	5.8%	8.0%	5.2%	5.9%	5.3%	6.7%
問７水害対策	7.7%	7.5%	5.9%	4.5%	3.2%	4.7%	2.6%
問７多摩川河川敷の整備	3.7%	3.4%	5.0%	2.9%	1.6%	5.3%	1.5%
問７その他	2.4%	3.2%	2.7%	2.6%	2.5%	3.1%	2.8%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



「地震防災対策」「道路・公園の整備・清掃」「ホームドア設置など駅の改善」の上位３項目と、５番目の「バリアフリーの推進」までは居住地による差異は少ないが、それ以外は居住地により要望に強弱があることが見て取れる。。

全体で４番目の「駐輪場対策・自転車対策」は川崎区、中原区、高津区で高く、これらの居住地内では３番目の高さとなっている。宮前区、多摩区、麻生区では低い。

「交通不便地域の改善」は南部３区では少なく、宮前区はその２倍くらいの要望率となっている。高津区、多摩区、麻生区はその中間である。「バス路線の改善」もほぼ同様の傾向を示しており、幸区、川崎区は中原区より高い。宮前区内ではこの２項目は要望率順で２番目、３番目となっている。

「緑の保全」は北部ほど高くなり、麻生区内では要望率順で４番目になっている。

「ごみ収集の改善」は川崎区、幸区で高い。

「再開発事業の見直し」は中原区が最も高いが、麻生区が２番目に高くなっている。

「水害対策」は川崎区、幸区で高く、宮前区、麻生区で低い。「多摩川河川敷の整備」は中原区、多摩区で高く、多摩区では水害対策より河川敷の整備が高い。

子育て・雇用・高齢者・まちづくりなど

市民生活に関するアンケート 2016

日本共産党
川崎市議会議員団
ファックス 245-4140
Eメール info@jcp-kawasaki.gr.jp

みなさんのご意見・ご要望をお聞きし、議会活動に生かすためのアンケートにご協力をお願いいたします。この用紙にご回答・ご記入をしていただき、一緒にお配りした返信用封筒（受取人払い）に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、メール、FAXでのご回答も受け付けております。個人情報は厳守いたします。以下の設問で、該当する回答の番号に○をしてください。

お住まい　1．川崎区　2．幸区　3．中原区　4．高津区　5．宮前区　6．多摩区　7．麻生区　8．市外

ご 職 業　1．会社員（正社員・非正規）　2．自営業・農業　3．年金生活　4．主婦　5．学生
6．パート・アルバイト　7．無職　8．その他（　　）　**性別**（　　）

1 あなたの毎日の暮らし向きは、ここ数年でどう変わりましたか？

1．楽になった　2．苦しくなった　3．変わらない　4．わからない

2 前の質問で「苦しくなった」とお答えの方、その理由をお選びください。（複数回答可）

1．給与の減少　2．年金の減少　3．売上の減少　4．失業・退職　5．倒産・廃業
6．消費税などの増税　7．社会保険料の負担増　8．公共料金の負担増　9．医療費の支出増
10．保育・教育などの支出増　11．介護費用の支出増　12．その他（　　）

3 働き方・雇用の問題で関心のあることは何ですか？（複数回答可）

1．就職活動　2．非正規社員の正社員化　3．長時間労働　4．サービス残業
5．休みが取れない　6．産休・育休がとれない　7．低賃金　8．パワハラ・セクハラ
9．ブラック企業・ブラックバイト　10．その他（　　）

4 福田市長になって3年たちますが、前市長の時代と比べて市政をどう感じますか？

1．よくなったと思う　2．悪くなったと思う　3．変わらない　4．わからない

その理由をお聞かせください。（設問1、2、3の回答に関してもご意見があれば、こちらにお書き下さい）

ウラ面もあります

川崎市は政令市トップの財政力です。市政で特に力を入れてほしいことについて伺います。

5 子育て・教育で力をいれてほしいことは何ですか？（複数回答可）

1．小児医療費助成制度の拡充　2．妊婦検診費用の補助　3．出産費用補助　4．不妊治療助成
5．保育園待機児童の解消　6．私立幼稚園の入園料・保育料補助　7．わくわくプラザの充実
8．学童保育への支援　9．遊び場や公園の整備　10．こども文化センター改善　11．少人数学級の拡充
12．就学援助の拡充　13．不登校・いじめ問題　14．老朽校舎の改善・改築
15．高校奨学金の拡充　16．教育費の保護者負担軽減　17．その他（　　）

6 高齢者、障がい者、福祉施策で力をいれてほしいことは何ですか？（複数回答可）

1．介護保険料・利用料の軽減　2．特別養護老人ホーム等の増設　3．介護援助手当の復活
4．医療費窓口負担の軽減　5．老人いこいの家等の増設　6．敬老無料パスの復活
7．障がい（児）者施策の拡充　8．障がい者施設・グループホーム等の増設・支援
9．国民健康保険料減免制度の拡充　10．その他（　　）

7 まちづくりで力を入れてほしいことは何ですか？（複数回答可）

1．地震防災対策　2．水害対策　3．道路・公園の整備・清掃　4．交通不便地域の改善
5．バス路線の改善　6．駐輪場整備・自転車対策　7．緑の保全　8．多摩川河川敷の整備
9．バリアフリーの推進　10．ホームドア設置など駅の改善　11．ごみ収集の改善
12．再開発事業の見直し　13．その他（　　）

8 市政に対するご意見・ご要望や身近な要求があればお書きください。

道路、公園、通学路など、身近に改善してほしい場所や要望など、なるべく具体的にお書きください。
通勤・通学・移動などで鉄道駅構内での危険な経験などもあればお書きください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。さしつかえなければご記入ください。

お名前

ご住所

電話番号・メール

ファックスで送られる方はこちらへ
日本共産党川崎市議会議員団
FAX 044-245-4140